

写真展焼かないれんがのものがたり・鉦滓煉瓦<sup>編</sup> 関連企画

# 焼かないれんが<sup>たち</sup> から見る「材料史学」の可能性

こうさい れんが  
鉦滓煉瓦研究報告シンポジウム



写真・右上：からみ煉瓦（東京都北区滝野川）  
左上：人造石（長七たたき・愛知県岡崎市岩津天満宮）  
右下：鉦滓煉瓦（福岡市東区箱崎）  
左下：中村式鉄筋コンクリートブロック（福岡県志免町）

令和3年1月30日13:00-16:30

北九州イノベーションギャラリー・プレゼンテーションスタジオ  
(JR スペースワールド駅徒歩5分、駐車場近接) 予約不要・入場無料

パネリスト・コーディネータ（五十音順・敬称略）

天野 武弘 市原 猛志 京牟禮 実 小西 伸彦 領塚 正浩

愛知県生まれ。産業遺産の調査研究の一つとして、明治維新以降の国内独自技術である人造石工法（長七たたき）に関する研究を進める。2018年より産業遺産学会会長。愛知大学中部地方産業研究所研究員を務める。

北九州市生まれ。大学学部生の頃より産業遺産の研究を進め、2017年より科研費による国内外の鉦滓煉瓦調査を行う。現在産業遺産学会理事、九大大学文書館協力研究員、門司麦酒煉瓦館館長などを務める。

宮崎県生まれ。沖縄職業能力開発大学校教授から、現在きずな開発研究所代表。福岡県出身の中村鎮が考案した鉄筋コンクリートブロック構造に関する研究を進める。中村式鉄筋コンクリート（NRC）研究会代表。

岡山県生まれ。中国地方の鉄道遺構やからみ煉瓦の調査研究実績を持つ。天満屋百貨店、大原美術館学芸員等を経て、現在産業遺産学会理事、就実大学非常勤講師、産業遺産情報センター研究員を務める。

東京都生まれ。からみ煉瓦の街に生まれ育つ。市立市川考古博物館学芸員、北区史を考える会会員として、地域の歴史や文化財を研究。2018年、東京都北区とその周辺に分布するからみ煉瓦について論説を発表。